



題字：桂川中学校美術部 持田 由良 さん

■生きる力の基礎を育む 幼稚園教育を

桂川町立桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

4月に8名の新入園児を迎え、ちゅうりっぷ組(3歳児)6名、たんぽぽ組(4歳児)16名、ひまわり組(5歳児)6名で新年度がスタートしました。

本年度の教育目標を「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」とし、「健康で健やかに育ち元気に遊べる子ども」、「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」、「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成を目指します。

中でも、小学校の学習や生活へのスムーズな接続を図るためのアプローチカリキュラムや、3歳児から4歳児、4歳児から5歳児へと一貫性をつながりのある教育を行うための「育ちと学びの接続プラン」の取組を軸に、3年間を見通した、園児のより良い育ちをめざします。

開かれた園づくりをめざして、町立図書館、王塚装飾古墳館、ゆのうら体験の杜の活用やとれたて村、ひまわりアンピシヤス広場の方たちとの体験・交流活動など、地域の施設の活用や地域の方とのふれあいにも力を入れ、「ふるさと桂川」への意識を芽生えさせたいと考えています。子どもたちの園生活の様子を写真でお知らせする「元気っ子だより」も

本年度からクラス特集を加えて毎月更新してまいりますので、ぜひご覧になってください。(桂川町公式HP↓子育て・教育↓桂川幼稚園↓「元気っ子だより」で見ることができます。)

◀キッズヨガの園児たちも楽しんでいます



▶春の遠足 夜須高原でたっぷり遊びました

また、本年4月から、満3歳の誕生日を迎えた日から入園できるようになりましたので、ご希望やご相談がある場合は幼稚園にお電話ください。本年度も教職員一同、生きる力の基礎を育むことを目標に、子どもたちに負けない明るさと元気で幼稚園教育を進めていきます。

地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

■出会い なかま 共に

桂川中学校校長 安藤 能之

あつというまに4月と5月を終え、一学期も半分を過ぎることとなりました。その間、入学式に始まり体育会、授業や生徒会活動、それに部活動と、生徒たちはその若さあふれる活力を見せつけています。学校は新たな仲間との出会いの中で、共につくりあげる中学校生活を意識しながら様々な取組を進める場所となってきました。この『出会い、なかま 共に』は大事なスローガンです。

本年度の学校教育目標は「自ら学び、夢の実現に努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成」です。そこで、その目標の達成に向け、学校・家庭・生徒がそれぞれで取り組む、また、取り組んでほしいことを明らかにして、「生徒の力」向上プランとしてまとめました。

- 学校では
- ★主体的・対話的で深い学びを目指す「桂川中授業スタンダード」の実践
- ★はげみの時間と補充・発展の時間
- ★新聞を活用した読解力の向上
- 家庭では
- ★基本的な生活習慣が身につく環境づくり
- ★学習ができる環境づくり

- 生徒は
- ★読書に親しむ環境づくり
- ★早寝・早起き・朝ご飯
- ★家庭学習「桂川ノート」の取組

★進んで家庭や地域の役割をはたすなど、三者が協力しながら子どもたちの力を豊かに伸ばしていこうという、いくつかの取組を示しています。今年度に入っても、本校の生徒たちは、全体的にはみな明るく元気に生活しています。しかし、何事もうまくいくことばかりではありません。つまずいたときにもう一度挑戦する、あきらめずにやり直すという気持ちも大切です。そして、その中で「一人ひとりを大切に」の視点で、保護者や地域のみなさまとも協働して良い方向に進みたいと思います。職員一同、精一杯努めますので、今後ともよろしく願っています。



▲5月20日(土)の体育会では、生徒たちの成長を多くの方々に見ていただきました